

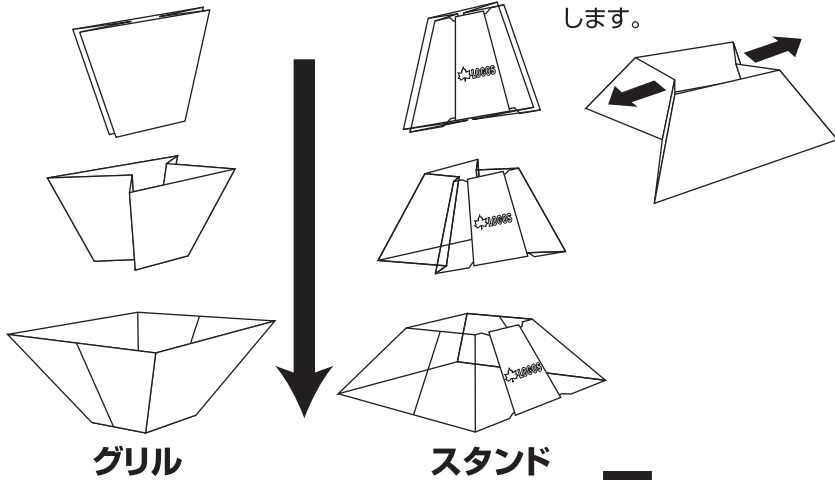
焚き火deグリルL2

【部品構成表】		(1)		(1)
グリル		(1)	ダッチラック	(1)
スタンド		(1)	キャリーバッグ	(1)
焼き網		(1)		
ロストル		(1)		
ボトムプレート		(1)		

組み立て手順

グリルとスタンドを展開します。
いずれも広げるようにして開きます。

コツは中央から内に向けて
折れ曲がっている2面を
外側に向け引き出すように
します。



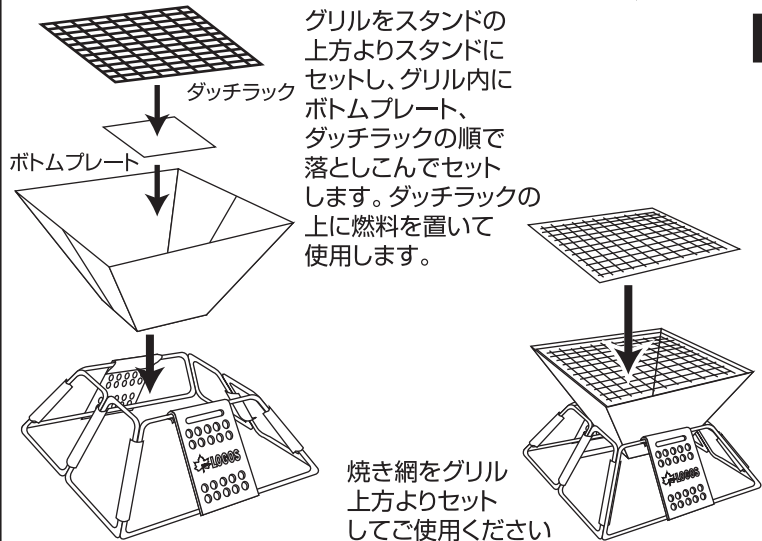
⚠️ 使用上の注意

- 禁止! 着火後にグリルの移動は行わないでください。
- 禁止! 使用中のグリルは素手で触らないでください。
- 禁止! 着火後は、炭がはぜたり火の粉などが跳ぶ場合がありますので、顔をなどを近づけることはお止めください。また、燃えやすいものの周りでの使用もお止めください。
- 禁止! 着火剤や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなどをご使用にならないでください。
- 禁止! グリルは、屋内やテント内又タープの下では使用しないでください。
- 禁止! 使用中はお子様やペットを器具の周りで遊ばせないでください。
- 警告! 組み立ては説明書をよく読み、正しく行ってください。組み立てが不十分だと転倒する恐れがあります。
- 警告! 分解、組み立て、着火、調理、消火の際には革手袋などを着用し、やけど等のケガに十分ご注意ください。
- 警告! 使用後の残り火の始末には十分にご注意ください。完全に燃え尽き、グリルや火床が冷えた事を確認した後に灰処理、撤収を行ってください。
- 警告! 消火のために器具に水をかけると急激な温度変化により器具が変形することがあります。又、高温の水蒸気が発生し火傷の危険にもつながりますのでお止めください。
- 警告! 風の強い日は危険ですので、焚き火は行わないようにしてください。
- 注意! 焚き火を行う際は事故防止のために、必ず消火用の水をバケツなどに入れてご用意ください。
- 注意! 焚き火を行う際は燃料の入れ過ぎにご注意ください。炎が高く上がり危険です。
- 注意! 焼き網の使用後は、食べ物のカス等をきれいに取り除き、十分に乾燥させた上で食用油を塗ってから冷暗所に保管してください。
- 注意! 燃料の入れ過ぎは、本体の変型やひどい変色につながる恐れがあるため、必要以上は入れないでください。
- 注意! キャリーバッグに収納する際は完全に冷えた状態で収納してください。

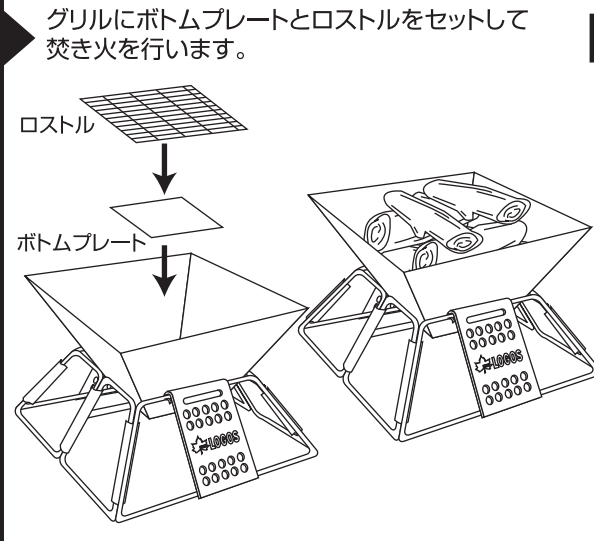
お使いになる前に...

- 網を洗浄する。
 - グローブを着用する。
 - (着火方法)
1. ロストルの中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら燃料を積み上げる。(ジェル状着火剤は最下部の燃料上に塗る)
 2. 柄の長いライター等で、着火剤に着火をする。
 3. バーベキューの場合は、全ての木炭が着火状態なのを確認した後、ロストル上にまんべんなく広げてください。所々炭が二重に重なるぐらいが適量です。
 4. 備長炭の着火は、着火状態の木炭の上に置いて着火してください。

バーベキューを楽しむ!



焚き火を楽しむ!



ダッチオープンを楽しむ!

